

例会日:木曜日 12:30~13:30 例会場:尼崎市昭和通 2丁目7番1号 都ホテルニューアルカイツク
 毎月最終例会 18:30~19:30 事務局:尼崎市昭和通 2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター5階
 TEL 06 (6401) 7573 FAX 06 (6401) 7590
 http://www.amagasaki-southrc.com E-mail amasrc@amagasaki-southrc.com
 会長 松田高基 幹事 小島成介 広報委員長 與那嶺まり子



VOL.27 No.8 2013-2014

Today's program	Next program
8月29日 (第1218回例会) 「最近の話題から」 武田 会員	9月5日 「新世代奉仕フォーラム」 金剛 会員

前回(8月22日)の報告

1. ソング

「我は海の子」

2. ビジター紹介

- 大室 備氏 (国際ロータリー第2680地区ガバナー)
- 丸谷 卓生氏 (地区副代表幹事)
- 中 和義氏 (地区総務幹事)
- 金 蘭 氏 (米山奨学生)



3. 会長の時間

記載名称 「Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration」
 (富士山—信仰の対象と芸術の源泉)

今年の6月に、富士山の世界遺産一覧表への記載が決定され、地元はもとより、日本中が「富士山、世界遺産登録記念イベント」、或いは記念グッズの販売で盛り上がりました。日本の多くのメディアも同様に「富士山世界遺産登録」を、お祭りの如く報道をし、自然遺産ではなく、文化遺産としての登録であることや、異例の条件付きの登録であった事はあまり報道されていませんでした。霊峰富士と呼ばれるには、あまりにもゴミが多く汚いと、アルピニストの「野口健」氏が、民間を巻き込み清掃の登山を繰り返し行っていたことは、皆さんの記憶にもあると思います。ゴミが多すぎて自然遺産では登録できずに、文化遺産としての申請に替えたのでしょうか？その「野口健」氏が7月20日のフェイスブックで下記のように書かれています。

以前もツイッター等で書きましたけれど、どうして日本のメディアは条件付きであった富士山の世界遺産登録について報じようとししないの。
 通常は世界遺産に登録されてから6年後にユネスコ関連からチェックを受けるものですが、富士山はその半分の3年後。これはかなり異例との事です。
 そして、それだけではなく、沢山の宿題を貰っている。
 増え続ける観光客からどのようにして富士山を守っていくのか、自然管理システムを3年後までに提出しなければならない。
 また山中湖や河口湖を走るモーターボートについて霊峰富士の観点から眺めると違和感があるとの事。日本人はすぐに観光化してしまう癖がある。本来ならば霊峰富士には静寂な環境が求められる。これら与えられた条件をひとつひとつクリアしていかなければ3年後の次のビッグニュースは富士山の世界遺産登録取り消し、または世界危機遺産入りという事も十分に考えられる。
 つまり富士山の世界遺産登録に浮かれている場合ではない。
 我々は、ユネスコサイドに試されていると自覚したほうがいい。
 そんな愚痴ばかり言っても埒があかないので、まずは目の前のゴミと格闘しなくちゃ。
 でも、やっぱり条件付きの世界遺産登録であった事をメディアはしっかりと伝えるべき。
 (7月20日 野口健氏 フェイスブックより)

The Rotary Club Of Amagasaki South
 Rotary Club International Dist.2680



基本に帰ろう

2013-2014 会長方針

2013-2014年度 会長 松田高基

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014 国際ロータリー会長

Ron.D.Burton ロン.D.パートン



